



教育予算をふやし、値下げを

学生も大学も限界

おかしな
計算
ポイント

2025

83.6%
アルバイト率

卒業時の借金
300万円(平均)

1日1食
食費は月2000円

47%
「生活費、お金」
悩みは

高学費が奪う「自由な時間」 学生の手に取り戻そう

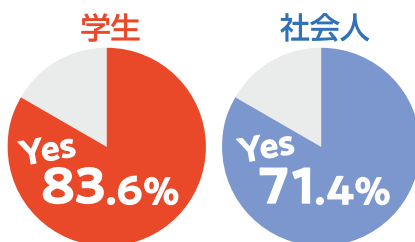
あとから取り戻すことができない学生時代の貴重な「時間」。知的好奇心を満たし、友人たちと広く深くつながり、自分を成長させる「時間」——学生にとって、いましかない「自由な時間」を保障するためにも学費ゼロが必要です。

社会人となっても「自由な時間」はなくてはならないものです。日本共産党は、賃上げ&時短で「1日7時間・週35時間」法を提案しています。

山添政策委員長の
解説動画

山添拓チャンネル

時間に追われていると
感じますか？



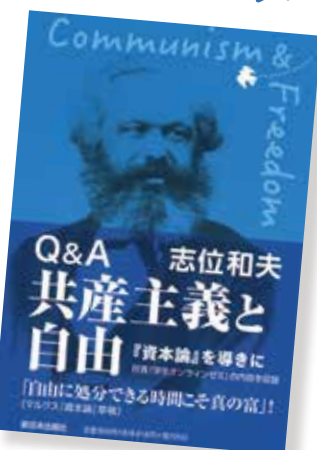
セイコー時間白書(2017年)

「自由な時間こそ真の富」

マルクス

「自由な時間」のなかで、みずからの能力を開花させ、社会的な連帯を広げ、人として成長する。「自由な時間」を奪われた人間は牛馬にも劣る——マルクスは「自由な時間」こそ、人間にとっての「真の富」であることを説明。日本共産党のめざす共産主義は、「自由な時間」を社会の全成員に保障する未来社会です。

日本共産党議長 志位和夫 著
定価900円(税込)



自民党は“質の高い教育、というけど…



こんな「大学」で よいのでしょうか

自民党は大学予算をカットし続け、この約10年で学費は10万円アップ(私大平均)。「質の高い教育、にはコストが必要」とさらなる値上げを狙いますが、学生をアルバイト漬けにして、学ぶ時間を奪っているのは高学費です。大学教員は非常勤講師が増え、教育・研究に専念できず疲弊しています。

お金の心配なく、安心して学ぶことを保障してこそ、大学教育の充実も、日本の未来もひらけます。

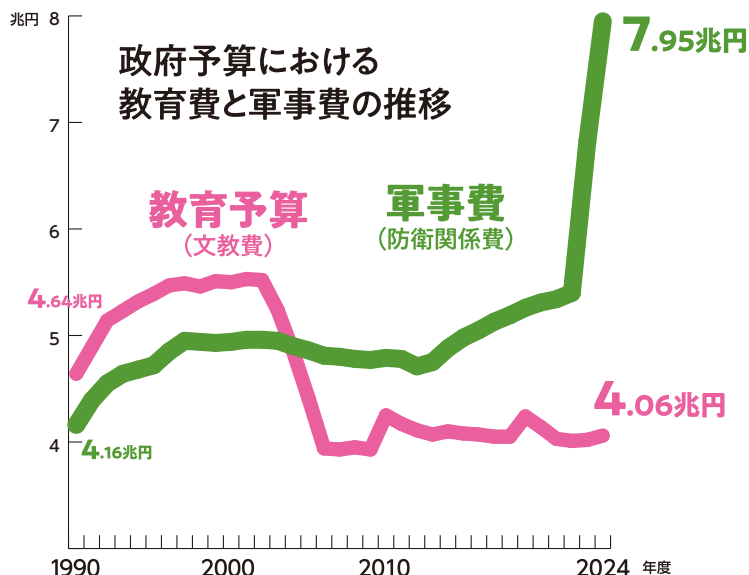
日本共産党

学費は値下げできる

ヨーロッパなみの教育予算に

教育は権利であり、大学での学びは将来、社会全体に還元されるものです。だから、ヨーロッパでは、学費ゼロの国も少なくありません。

日本で学費値上げが続くのは、国にお金がないからではありません。“教育費は学生が負担して当然、”という考えだからです。日本共産党は、その考え方を、180度切りかえます。



力を合わせて
実現しましょう！

学費ゼロへ

いますぐ半額

入学金ゼロ

給付^{中心}の奨学金

